

右尋問及陳述ヲ何某ニ讀聞セタル處迄モ相違ナキ旨申立ルニ依リ何某ト共ニ署名捺印スル者也

愛媛縣何收稅署

問稅官吏

年月日何地ニ於テ

官 氏 名 印

(證人其他) 氏 名 印

備考

(第一號樣式ニ同シ)

(第三號樣式)

證據物件差押目錄

一何々 何程

一何々 何程

右ハ明治何年何月何日何某何稅則違犯事件ニ付本人(何某)方臨檢ノ際發見シ犯罪ニ關スル證據物件ト認メ之ヲ差押此目錄ヲ作ル(リ)騰本ヲ何某ニ交付スル(モノ也)

愛媛縣何收稅署

問稅官吏

年月日

官 氏 名 印

立會人

附記例

氏 名 印

一 騰本ヲ交付スルトキハ問稅官吏其官印ヲ以テ之ニ割印スヘシ

一 官署ノ印ヲ捺捺シ得ル場合ハ之ヲ捺捺シ捺捺スル能ハサルハ其旨ヲ附記スヘシ

(第四號樣式)

印紙

預リ證

一何々 何程 但封印何箇所

一何々 何程 何々

右ハ明治何年何月何日何某方ニ於テ何某何稅則違犯事件ニ係ル證據物件トシテ差押ニ相成保管致可旨御命ニ依リ正ニ領收致候尤御用ノ節ハ何時ニテモ可差出候也

何府縣國郡市(町村)吏員

(又ハ何市町村番戶)

年月日 何 某 印

問稅官吏

官 氏 名 宛

(第五號樣式)

領收證

一何々 何程
一何々 何程

右ハ何某何稅則違犯事件ニ係ル證據物件正ニ領收候也

年月日

何收稅署印

問稅官吏

官氏名宛

(第六號樣式)

鑑定書

自分儀何々ノ鑑定ヲ爲スヘキ旨ヲ命セラレタルニ依リ左ノ如ク鑑定ス
一何々ノ方法ヲ施シ何々シタル處何々(理由)ナルニ付何々(性質)ナルコト明白ナ
リ

右之通り相違無之候也

住所

職業
身分

年月日

氏名印

(第七號樣式)

處分請求書

何府縣國郡市町村番戶

職業(稅則ニ付テノ職業)

身分

(罰科)金額(其一定セル者ハ最多額)

何

某

沒收品 何々何程(見積價格何程)

何年何月

追徴金 何程

何府縣國郡市町村番戶

(後見人アルホノ例)

何某後見人

某

何年何月

明治何年何月何日同人ニ於テ何稅犯則ノ所爲アリト認知(又ハ思料)シタルニ付何
所ニ出張シ取調候處(何年何月何日檢査ノ際又ハ何所若クハ途上ニ於テ何稅犯則
ノ所爲ヲ發覺)何々(其場ノ景狀ヲ詳記スヘシ)ニ付即チ犯則者何某又ハ證人何某
ヲ尋問シタル處別紙調書ノ如ク其犯情ヲ(自認證言セリ)(又ハ強辨其罪ヲ掩フト
雖モ其犯情ノ明確ナルハ何々ニ由リ(其證據物件ヲ説明スヘシ)之ヲ見ルニ充分ナ
リトス)右何某所爲ハ明治何年何月何日法律第何號(又ハ何號布告)何稅則第何條
ニ違犯シ同則第何條ニ依リ處セラルヘキモノト認定スルニ付一件證據書類目錄ノ
通差出候條相當御處分相成度此段及請求候也

年月日

問稅官吏

何氏名印

何收稅署長宛

目錄

- 一第一號 臨檢調書
 - 一第二號 尋問調書
 - 一第何號 何々
 - 一第何號 何々
- 右之通候也

年月日

間稅官吏

官氏名印

(第八號樣式)

通告書

何府縣國郡市町村番戶

職業

身分

何某

何年何月

右ノ者何稅則違犯事件間稅官吏官氏名ノ處分氏名ノ請求ニ依リ調査スルニ何某ハ年月日何處ニ於テ何々セシモノナリ右ノ事實ハ間稅官吏ノ臨檢調書證人何某ノ尋

問請書并ニ差押ヘタル何々等ニ徴シ其證憑充分ナリトス

右所爲ハ何年何月法律第何號(又ハ何號布告)何々稅則第何條ニ違犯セシモノニシテ同則第何條何々トアルニ該當スルモノトス依テ其罰金額又ハ科料金ノ範圍内ニ於テ罰金(又ハ科料)ニ相當スル金何圓及沒收ニ該ル何々物件(又ハ物件賣捌代價金何圓)ヲ納メ仍ホ何々費何圓ヲ當收稅署ヘ納付スヘシ

差押ヘタル何々ハ此通告履行ノ上何某ニ還付ス
但七日以内此通告ノ旨ヲ履行セサルトキハ裁判所ニ告發ス
右間接國稅犯則者處分法第十一條ニ據リ通告ス

何收稅署長

官氏名印

年 署
印 月 日

(第九號樣式)

通告書

何府縣國郡市町村番戶

職業

身分

何某

何年何月

明治何年何月何日開稅官吏官氏名ニ於テ右何某ニ對シ何稅則違犯ノ廉アリト思料シ處分請求ニ及タル事件調査ヲ遂クル處犯則ノ證據充分ナラス(又ハ其事件罪トナラス若クハ公訴ノ時効ニ罹リタリ)依テ該請求事件ハ之ヲ棄却ス但犯則物件トシテ差押タル何々ハ還付シ尙封印解封ノ爲メ當該官吏ヲ派遣ス右通告ス

署
印月日

何收稅署長
官氏名印

(第十號樣式)
告發書

何府縣國郡市町村番戶

職業

身分

何某

何年何月

右ノ者ニ對シ何々稅則違犯ノ廉ニ付開稅官吏官氏名ヨリ處分方請求有之調査ヲ遂クル處(犯則事實ノ要領ヲ記スヘシ)右ハ何年何月法律第何號(又ハ第何號布告)何々稅則第何條ノ違犯者ト認メ明治廿三年法律第八十六號間接國稅犯則者處分法ニ據リ別紙謄本ノ通り通告ヲナシタル

署
印月日

何收稅署長
官氏名印

何裁判所

檢事何某殿

(第十一號樣式)

告發書

何府縣國郡市町村番戶

職業

身分

何某

何年何月

右之者明治何年何月何日何稅則違犯ノ所爲アリト認知(又ハ思料)シタルニ付何處ニ出張候處(犯則ノ事實其他明瞭ニ記載スヘシ)依テ何某ノ所爲ハ何年何月第何號布告何稅則第何條ノ違犯者ト確認スルヲ以テ明治廿三年法律第八十六號間接國稅犯則者處分法ニ依リ所轄收稅署長ヘ處分方請求スヘキノ處本人ノ住所分明ナラス又ハ(本件ハ(禁錮拘留)ノ刑ニ該ルモノト思料ス)又ハ何々ヲ以テ同處分法第何

條ニ依リ一件書類及差押ヘタル證據物件何々何程相添及告發候也

何府縣國郡市町村出張先ニ於テ

又ハ何收稅署ニ於テ

間稅官吏

官 氏 名 印

年 月 日 署 印

何裁判所

檢事何某宛

備考

一 官署ノ印ヲ押捺シ得ル場合ハ之ヲ押捺シ押捺シ能ハサルトキハ其旨ヲ附

記スヘシ

(第十二號様式)

公賣品代金計算書

一金 何程

公賣品代價

内

金 何程

何々何箇

金 何程

何々何石

一金 何程

公賣處分費

差 引

殘金 何程

右ハ明治何年何月何日何某何稅則違犯事件ニ付差押ヘタル物件何某ノ承諾ヲ得テ
公賣ヲナス處其代金計算前記ノ通ニ有之殘金ハ供託規則ニ依リ何々金庫ヘ之ヲ供
託ス依テ此目錄ヲ作ル(リ謄本ヲ何某ヘ交付スル)モノ也

何收稅署長

官 氏 名 印

年 月 日 署 印

(第十三號様式)

愛媛縣何收稅署書類目錄

文書ノ種類

丁 數

一 何々意見書

一 被告人何某取調書

一 全第二回調書

一 差押品目錄

一 物品保管書

一 何々

一 四 丁
二 五 丁
三 七 丁
四 八 丁
五 何 丁

以上○主任ノ認印

備考

一 訴訟書類編纂ノ順序ハ成ルヘク犯罪ヲ認知セシ順序ニ從ヒ編綴スヘシ

一 丁敷ノ欄ニハ其書類ノ第一葉ニ記入シアル丁敷ヲ記入ス例ヘハ意見書三葉アルルハ被告人調書ニハ四葉ヨリ起ルルヲ以テ四丁ト記スル類ノ如シ

十九章 調定及收入證明

○官第四四號 (明治二十四年七月二十七日)

内務部「直税署」

「間税署」

明治二十三年(八月)大藏省訓令第二百二十四號ニヨリ左記ノ書類ハ租税調定額證憑トシテ會計検査院ヘ提出ヲ要スルニ付二十四年度以降ニ屬スル分ハ其時々所轄「直間税分署」ヘ送付スヘシ

但既往ニ係ル分ハ此際取纏送付スヘシ且二十三年度ニ屬スル分ニシテ提出ヲ要スル分ハ追テ當該「分署」長ヨリ照會スヘシ

二十四年官第六二號ヲ以テ第一項更正

- 一 民有第二種地ヲ第一種地ニ同第一種地ヲ第二種地ニ爲セシモノ、指令原議書
- 一 松山市ニ係ル所得稅調查委員會決議書
- 一 同上稅法第二十三條ニヨリ稅額ヲ減免セシモノアルトキハ其所得金高減損事由書
- 一 同上納稅者他管ヘ轉居セシモノアルトキハ其年月日氏名轉居地名及ヒ所得金高稅額ヲ詳悉セル事由書

二十四年官第五三號ヲ以テ第八項削除

二十四年官第五三號ヲ以テ以下三項追加

- 一 同上自首ニヨリ稅金ヲ追徴スヘキモノアルトキハ其屆書
 - 一 所得稅法第二十條ニヨリ處分セシモノアルトキハ當該委員會ノ決議書
 - 一 松山市ニ係ル菓子賣上金高屆
 - 一 但金高三拾圓以上ノモノニ限ル
 - (二)
 - 一 西洋形船舶積量検査書
 - 一 但検査書ニハ新規又ハ船體變更等ノ事由明記ヲ要ス
 - 一 賣藥營業願同鑑札書替再渡願及廢業屆
 - 一 同規則第十條ニ依リ營業ヲ禁止セシモノアルトキハ其禁止命令書
 - 一 賣藥營業者ニシテ他管ヨリ轉入セシモノアルトキハ其鑑札書替願他管ヘ轉出セシモノニハ轉入先ヨリ送致セル鑑札返付書
 - 訓第三一八號 (明治廿四年七月廿八日)
- 郡役所
- 明治二十三年(八月)大藏省訓令第二百二十四號ニヨリ左記ノ書類ハ租税調定額證憑トシテ會計検査院ヘ提出ヲ要スルニ付二十四年度以降ニ屬スル分ハ其時々所轄直間税分署ヘ送付スヘシ
- 但既往ニ係ル分ハ此際取纏メ送付スヘシ且二十三年度ニ屬スル分ニシテ提出ヲ要スル分ハ追テ當該分署長ヨリ照會スヘシ

二十七年收訓第三
四號ヲ以テ但書追
加

右訓令ス
所得税

一 調査委員會ノ決議書

但他所轄ニ於テ所得税調査委員會決議後税法第十七條ノ達以前轉入シタルモノニシテ轉入地郡長ノ名ヲ以テ等級金額ヲ達シタルモノアルトキハ其事由書別途送附ヲ要ス

二 自首ニヨリ税金ヲ追徴スヘキモノハ其届書

三 税法第廿三條ニヨリ税額ヲ減免セシモノアルトキハ其所得金高減損事由書

四 納税者他管へ轉居セシモノアルトキハ其年月日氏名轉居地名及所得金高税額ヲ詳悉セル事由書

菓子製造税

賣上金高届書

但金高三十圓以上ノモノニ限ル

船税

日本形船積量検査書

但検査書ニハ新規又ハ船体變更等ノ事由明記ヲ要ス

(銃獵免許税)

二十五年勅令第八
十四號ニヨリ銃獵
免許税ノ廉消減

市役所

明治二十三年(八月)大藏省訓令第二百二十四號ニヨリ左記ノ書類ハ租税測定額證憑トシテ會計検査院へ提出ヲ要スルニ付二十四年度以降ニ屬スル分ハ其時々(度量衡税ニ關スルモノハ前半年分七月二日限後半年分一月四日限リ)所轄「直間税分署」へ送付スヘシ

但既往ニ係ル分ハ此際取纏メ送付スヘシ且二十三年度ニ屬スル分ニシテ提出ヲ要スル分ハ追テ當該「分署」長ヨリ照會スヘシ

右訓令ス

度量衡税

製作受負人ヨリ差出サセタル調書

但調書ニハ種類毎員數及原價増價通價額ヲ記載セシムルヲ要ス

(銃獵免許税)

○收訓第一九九號 (明治廿七年五月七日)

收税署

會計規則第九十五條第九十七條第九十九條ニ準據シ分任收入官吏ヨリ主任收入官吏ニ提出ヲ要スル租税收入證明規程左ノ通相定メ明治廿六年度分ヨリ施行ス

右訓令ス
租税收入證明規程

二十五年勅令第八
十四號ニヨリ銃獵
免許税ノ廉消減

- 第一條 分任收入官吏ハ毎年度經過後又ハ主任收入官吏分任收入官吏交替ノ片別紙第一號第二號書式ニ據リ收入計算書及現金出納計算書ヲ調製シ之ヲ主任收入官吏ニ提出ス可シ
- 前項ノ計算書ニハ收入簿(分任收入官吏交替ノトキ)及現金出納簿ト符合ヲ認メタル收稅署長ノ保證書ヲ添付スヘシ
- 第二條 一會計年度中ノ交替ニ依リ後任官吏ニ於テ提出スル收入計算書ニハ尙ホ前任官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ
- 前任官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中測定濟額ハ收稅署長ノ保證ヲ受ケテ之ヲ提出スヘシ
- 第三條 收入未濟ノ者又ハ滯納處分ヲナシタルモノアルトキハ別紙第三號乃至第五號書式ニ據リ其明細書ヲ調製シ收入計算書ニ添付スヘシ
- 第四條 左ノ事項ハ各其計算書ノ備考ニ記載スヘシ
- 但事複雑ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ
- 一 前年度繰越ノ收入未濟額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其金額、事由
 - 二 市町村ニ於テ亡失税金ノ責任免除ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額、事由
 - 三 欠損補填金ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額、事由
 - 四 金庫又ハ囑托收入官吏其他ハ拂渡未濟ニ係ルモノアルトキハ其金額、事由
- 第五條 現金出納及滯納處分ニス關ル證憑書類ハ左ノ如シ

- 一 現金ヲ拂込ミタルモノハ金庫ノ領收証書
 - 二 國稅滯納處分法第十一條ニ據リ囑托收入官吏ハ現金ヲ送附シタルモノアルトキハ其領收証書
 - 三 國稅滯納處分法第四十三條ニ據リ債主又ハ滯納者等ハ現金ヲ交附シタルモノアルトキハ其領收証書
 - 四 滯納者ノ所在不分明ニ據リ金庫ニ寄托シタルモノアルトキハ保管金領收証書ノ謄本
 - 五 財產賣却調書
- 前項ノ証憑書ハ各別ニ編纂スルヲ要セス假綴トシ金員紙數ヲ表記送付スヘシ

額計	不納 損額	収入未済額				備考
		前年度収入未済ノ分		本年度納額分		
		計	計	計	計	
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	一 調定外課納アリタルトキハ収入済額中(本年度納額達ノ分)ノ次ニ(調定外課納)ノ區テ股ケ其員數ヲ掲上シ備考ニ其事由ヲ記載スヘシ
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	

摘要	調定済額			収入済額		
	前年度収入未済ノ分		計	前年度収入未済ノ分		計
	本年 度 納 額 分	本年 度 納 額 分		本年 度 納 額 分	本年 度 納 額 分	
何々(項)	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
何々(目)	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0
何々						
何々	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0
總計	0	0	0	0	0	0

明治何年度租稅收入計算書面之通相違無之候也

何收稅署分任收入官吏

官 氏 名 印

主任收入官吏宛

年 月 日

凡例

一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ

二 收入官吏ハ計算書ノ表題何年度ヲ通セサルモアルトキハ計算書ノ表題何年度ノ次ニ其取

三 計尺算及明細書用紙ノ横線野帯ヲ用ヒ左側ニ

四 出入計算書ノ提出ハ其翌年度八月十日限リ現

但ナリ年納計書ハ提出ハ四月三十日限リトス

三年度内收入官吏ハ提出スヘシ

二十七年取訓第三
九號ヲ以テ第二
九號式改正

第二號書式

明治何年度間租稅

現金出納計算書

收 稅 署 名

備考	拂込済額		拂込未済額	
	円	銭厘	円	銭厘
一 一年度内ニ交替アリタルトキ後任官吏ノ計算書領收済額中(前年度拂込未済ノ分)ヲ(前任官吏拂込未済ノ分)トナスヘシ 二 拂込未済額ニシテ後任官吏ヘ引継テナセシモノアルトキハ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	

摘要	前年度拂込未済ノ分		本年度分		額計	
	円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘
何年度						
何々(項)						
何々(目)	0		0		0	
何々	0		0		0	
計	0		0		0	
何々						
何々	0		0		0	
何々	0		0		0	
計	0		0		0	
何年度分合計	0		0		0	
何年度						
何々						
(以下前例ニ依フ)						
總計	0		0		0	

明治何年度間租稅現金出納計算書面之通相違
無之候也

分任收入官吏官氏名印

主任收入官吏宛

年 月 日

第三號書式

明治何年度租稅

收入未濟額明細書

收稅署名

明治何年度租税收入未済額書面之通相違無之候也

何收税署分任收入官吏

官氏名印

主任收入官吏宛

年月日

摘要	納額達書受領年月日	納期	督促令状交付年月日	金額		備考
				円	銭	
何々(項)				0		何々事故ニ依リ何年何月 出訴ノ分裁判未定ニ依ル 何々事故ニ依リ滞納處分 未済ノ分
何々(目)				0		
住所氏名				0		
住所氏名				0		
納期以前ニ屬スル分計				0		
何々(以下前例ニ依フ)				0		前年度ヨリ繰越未收入額ニシテ本年度中尙ホ 收入ニ至ラサルモノアルトキハ各之ヲ別項ト ナシ毎年度ニ區分掲記スヘシ
項合計				0		
何々(項)						
何々(目)(以下前例ニ依フ)				0		
總計				0		

明治何年度間租稅滯納處分金明細書面之通相
違無之候也

何收稅署分任收入官吏

官 氏 名 印

主任收入官吏宛

年 月 日

第五號書式

明 治 何 年 度 租 稅

受 托 滯 納 處 分 金 明 細 書

收 稅 署 名

拂				部		受託金額 ニ對シテ 損シ額		備考
處分費	送付額	何々	計	損	額	円	銭厘	
円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘	一 本縣内分任收入官吏間ノ受託ニ係ルモノモ記載スルコトス
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	

受託金額		受				部		摘要
円	銭厘	差押物件 賣却代價	賣却代價	執行前納額	何々	計		
円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘	何題(委託線名) 何々(項) 何々(目) 住所氏名 住所氏名 某外何名賣却決 行前完納ノ者 某外何名無財産 ニ依リ缺損ノ分 計 何々 (以下前例) (ニ依フ) 項合計 何々(項) 何々 (以下前例) (ニ依フ) 總計
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	

明治何年租稅受託滯納處分金明細書面ノ通相
違無之候也

何收稅署分任收入官吏

官 氏 名 印

主任收入官吏宛

年 月 日

○收訓第二〇一號 (明治廿七年五月八日)

收稅署

本年(四月)會計検査院達第十號租稅歲入測定額證明規程ニ關スル取扱方左ノ通心得ヘシ

- 一 規程第一條測定額計算書第二條中年期地及變換地明細書ハ提出ヲ要セス其他ノ明細書ハ年度經過後四ヶ月以内ニ差出スヘシ
- 一 證憑書類ハ國稅賦課現計書進達ノ際之ニ照合シ第四條以下各條ニ依リ整理シ置キ收稅長ノ指達ニ從ヒ差出スヘシ
- 一 年度ヲ過キ證憑書類中算出違訂正等ニテ追徵還付スヘキモノヲ發見シタルトキハ明細書進達ノ際科目事故訂正年度追徵還付ノ年月日等詳細申報スヘシ

○收訓第二七七號 (明治廿七年八月一日)

收稅署

租稅納入後事故ニ依リ調査超過トナリシモノ及租稅過誤納ニ係ル取扱方左ノ通相定ム

但明治廿七年四月收訓第一七二號訓令ハ廢止ス

右訓令ス

- 一 租稅納入後事故ニ依リ測定超過トナリシモノ及租稅過誤納ヲ發見セシトキハ

別紙第一號様式通知書ヲ納人ニ發スヘシ
一 租稅納入後事故ニ依リ調定超過トナリシ金額及過誤納金額ハ其時々別紙第二號様式ノ書留簿ニ登記シ置キ計算書調製ノ用ニ供スヘシ

(別紙)

(第一號)

第何號

通知書

住所

氏名

明治何年度何稅(項ヲ掲ク)左表ノ通納付額超過(過誤納)ニ付下戻方請求ノ節ハ此通知書ヲ添付シ差出サルヘシ

年月日

何收稅署

稅目

金額

(備考)

市町村長ノ納入セシ稅金ニ付テハ該市町村長ニ對シ通知スルモノトス其宛名ハ收稅署名ノ次ニ其市町村長何某殿ト記載スヘシ
過年度分ハ其年度ヲ列記シ金額ノ欄ニ金額年度ヲ内譯ニ記載スヘシ
金額ハ何圓何拾錢ト記シ且一二三十八壹貳參拾ノ字体ヲ用フヘシ

事由ノ欄ニハ下戻ヲ要スル事實ノ生シタル年月日調定超過過誤納ノ事由及計算ノ基ク所ヲ詳記スヘシ其例左ノ如シ

(租稅納入後事故ニ依リ調定超過トナリシモノ、例)

大字何々何番地外何筆地租金何程何年何月何日荒地免租許可ニ付既納ニ係ル第何期分何程第何期分何程過納(所掲ノ事由ニヨリ計算スル所ト下戻金トニ差違ヲ生スルモノハ其事由ヲ付記スヘシ)

何年何月中檢査濟清酒ノ内何程何年何月何日腐敗免稅許可ニ付既納ニ係ル第何期分何程第何期分何程過納

(過誤納ノ例)

第何期分金何程納付スヘキ納付書ニ金何程ト誤記セシコト何年何月何日發見第何期分ハ金何程ナルヘキニ調査違算ニヨリ金何程トシ徵稅令書發付セシト何年何月何日發見

事由ノ欄ニ記スヘキ事項多數ナルトキハ該欄内ニ事由書別紙ノ通ト記入シ別ニ事由書ヲ添付スルモ妨ケナシ表中空罫アルトキハ斜線ヲ施スヘシ
租稅納入後事故ニ依リ調定超過トナリシモノト過誤納トハ別紙ニ調製通知スヘシ

○收訓第二八〇號 (明治廿七年八月三日)

收稅署

本年大藏省訓令第四六號ヲ以テ國稅ニ關スル別冊様式中更正相成タルニ付調定超過額ハ左ノ區分ニ依リ調製シ廿六年度調定超過現計書ハ便宜仕譯書ヲ調製シ本月十日迄ニ差出スヘシ

一 調定元簿中調定超過額ノ欄ハ更ニ中央線ヲ畫シ過誤額ト免除額トヲ區分掲記シ其事由ヲ摘要欄内ヘ記入スヘシ
一 租稅賦課現計書中ヘ記載スヘキ調定超過額ハ過誤納額及免除額ヲ合算掲記スヘシ

一 調定超過額現計書中本年度及過年度ノ目中ヘ過誤額ト免除額トヲ區分シ尙之ヲ細別何年何月又ハ第何期何々ト内譯記載シ其區分計及合計ヲ付スヘシ
右訓令ス

第二十章 雜款

○訓第四一二號 (明治二十四年十一月三十日)

「間稅分署」

船舶及牛馬賣買免許鑑札煙草菓子仕入出賣鑑札書換再渡ノ際記入スル鑑札番號ハ自今舊番號ヲ兼用スヘシ

右訓令ス

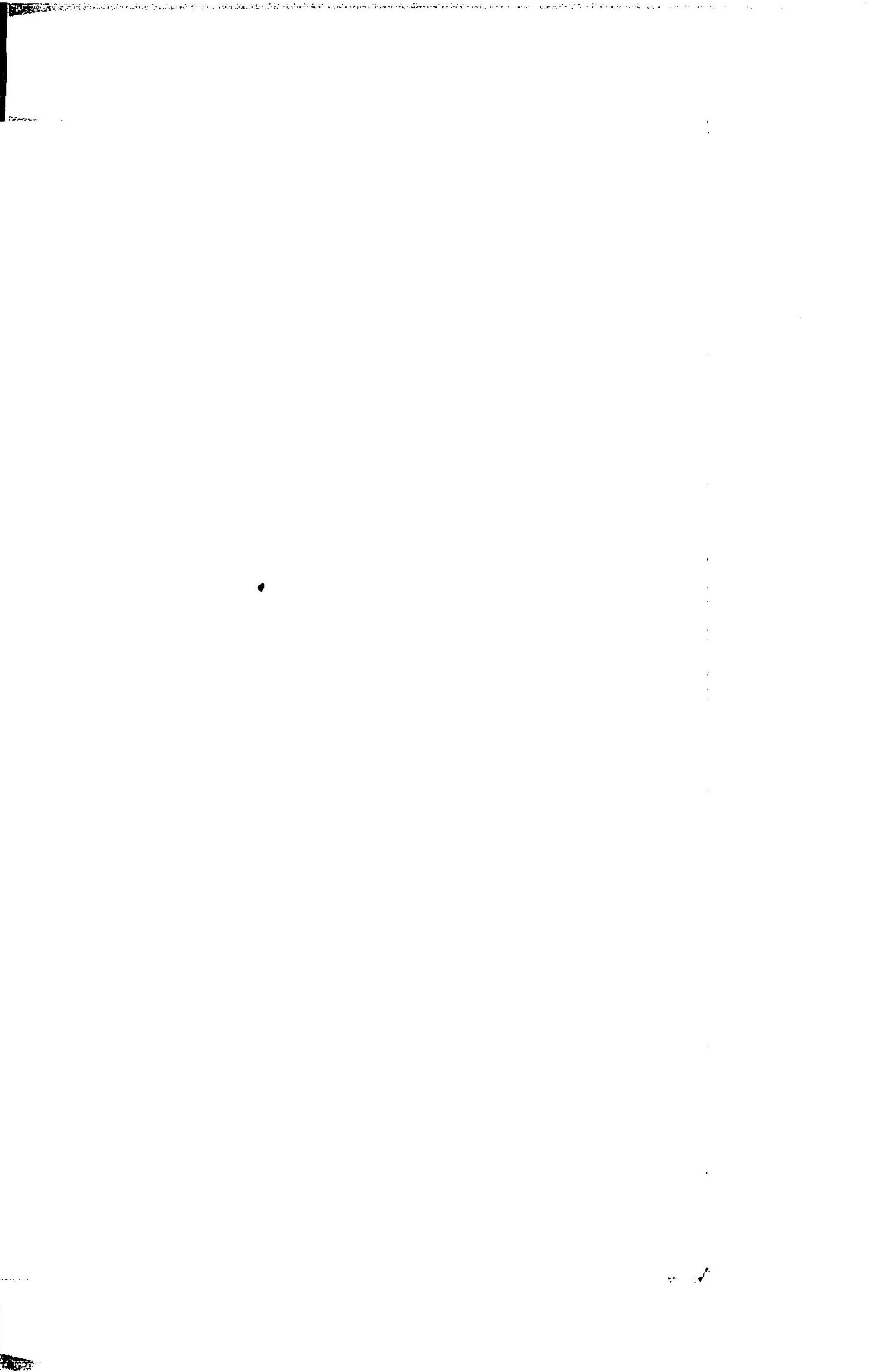
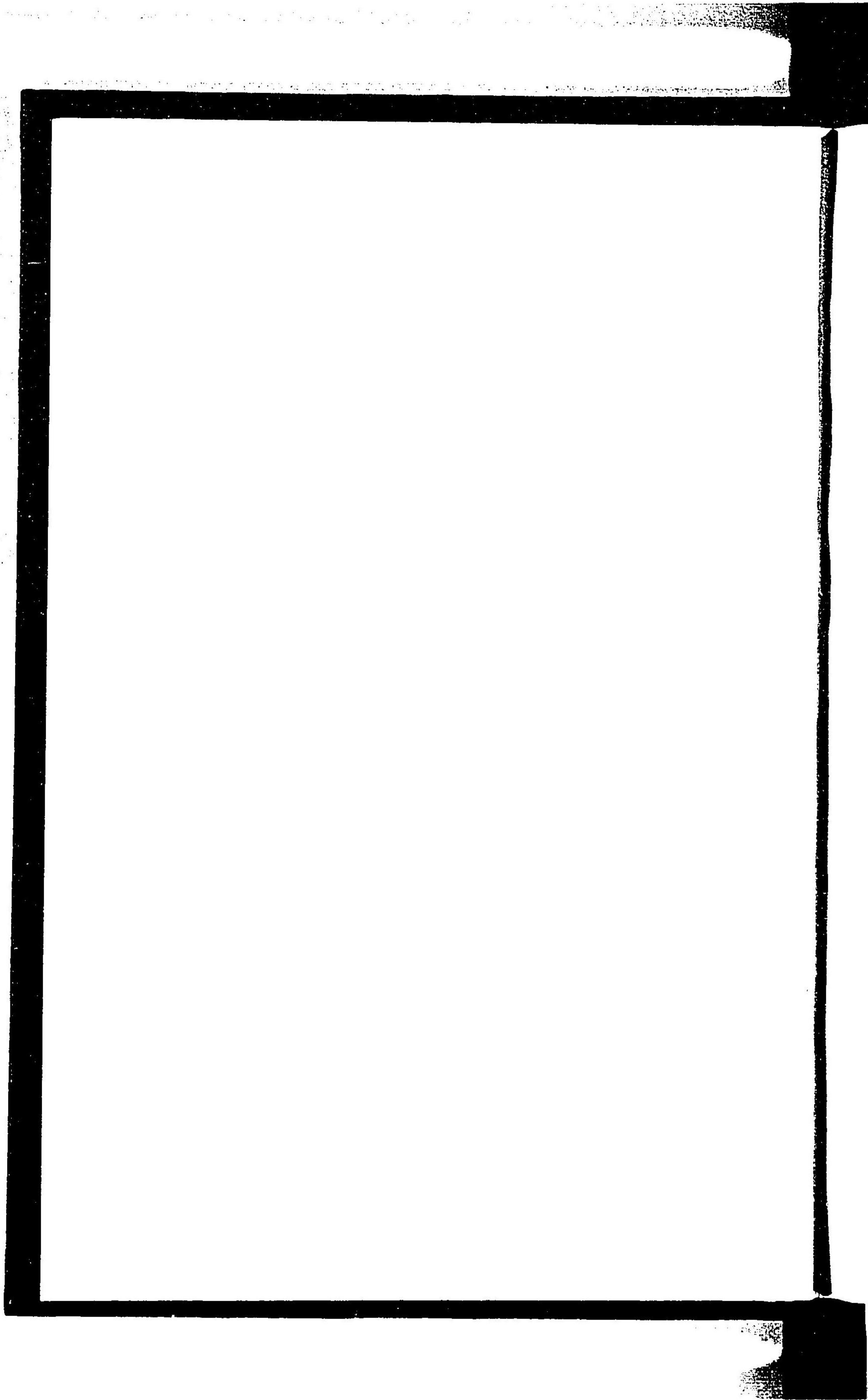
○收訓第四四四號 (明治廿七年十二月廿六日)

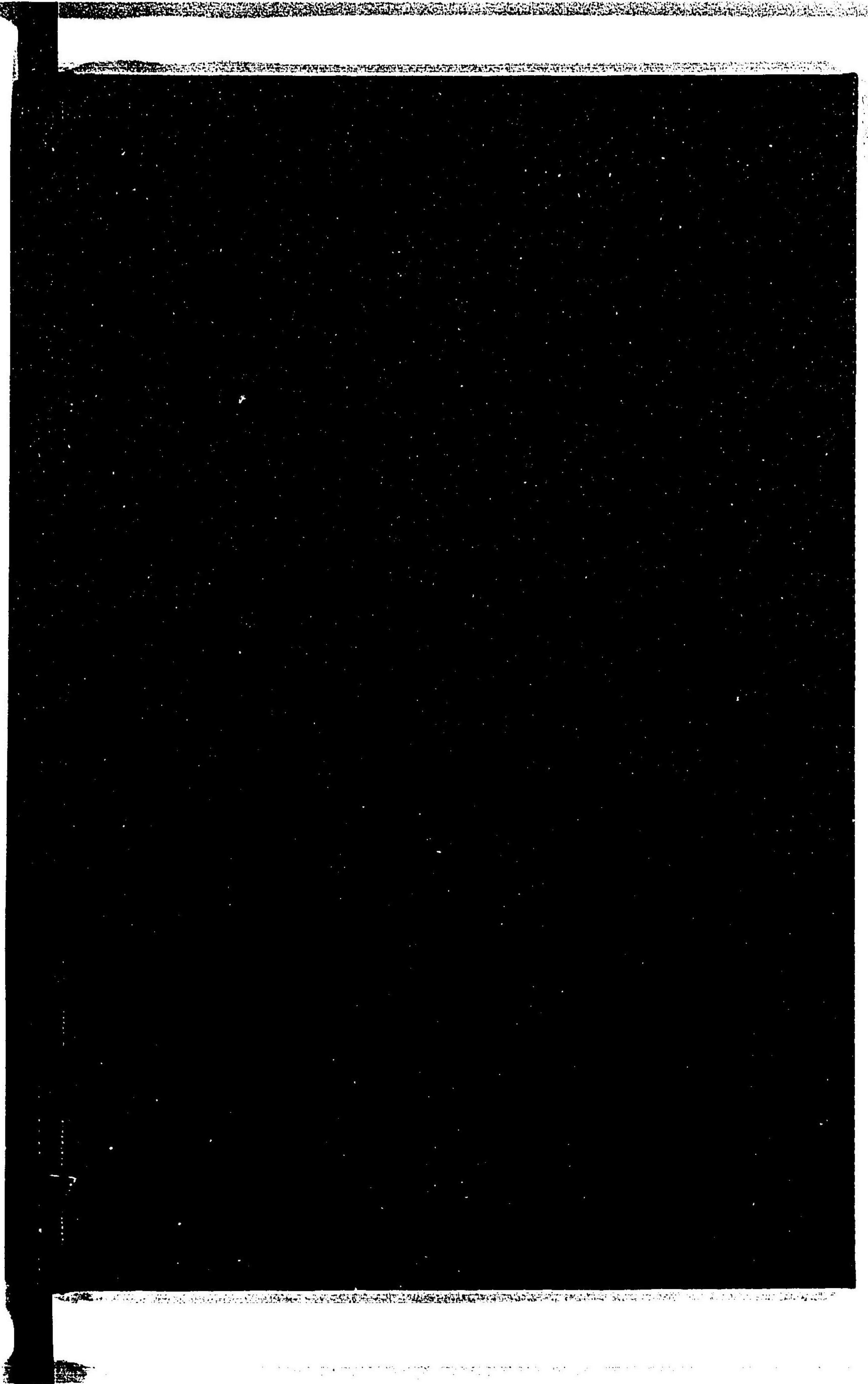
收稅署

國稅ニ關スル諸營業ニシテ組合出願ニ係ルモノハ自今共同營業トシテ連名ノ鑑札ヲ下付スル儀ト心得ヘシ
右訓令ス

千九百二十

愛媛縣令規類纂中卷終





031195-002-6

CZ-1113-99-010

愛媛県令規類纂

愛媛県内務部

M29-34

BBD-0157

